

# エリトリア 自立支援



9月にはコンピューターコースのために兵舎を教室に改修するため1万ドルを送金しました。7月までは完了の予定です。それにあわせて、中古コンピューター50台、プリンター13台、スキャナー1台、テレビ1台、変圧器3台、紙5万枚などを購入し、5月にコンテナで輸送し、岡安さんが7月でしか準備にあたり、9月の開校に間に合わせます。多くのかたのご協力に感謝いたします。

## 自分にとって国際協力とは

岡安智生 エリトリア派遣ボランティア、学生

国際協力とは何なのか。国際協力をしたいと思うようになってから、常にならぬがつかまってきた。「俺弱立場の人達に、上からなにか施すみたいにするのは嫌なんだよ」「たとえは、国際協力が多くの人々を救ったとする、環境保護が、多くの自然を守ったとする。それらによって、結果的に人口が増えて、さらに困難なことになるんじゃないか?」「どんなに頑張ったとしても、今資本主義世界の潮流は変わらないだろ。ほんとにやばくなったら、変わっていくだろ。今先進国の多くの人々が危機をそれほど感じていないなら、今なにをやっても埋もれてしまうのでは?」

友達と議論していきくと、こちらの言葉が必ず、つまってしまう。上に書いたようなことへの、納得い反論がでないでいました。偽善なのだろうか?

そういえば、なぜ僕がボランティアを始めるようになったのか。以前、その日の一分、一秒が削り切れなくなっていく、うみしながたことがありました。長くそれが続いていたある日、テレビでカンボジアの内戦の番組が流れていたのを観ていました。目の前で、自分の息子が頭を打たれた母親が、張り裂けんばかりに泣いていました。衝撃でした。なんということだろうか!これにくらべて自分の悲しみなんて、なんて軽いものなのか...あの母親はどれほど悲しいんだろうか!そんなことがあっていいのだろうか。今自分では、この一分が耐えるに長すぎたまでで思っている。このあの母親はどれほど悲しいんだろうか。

それを思い返して、なぜ自分が国際協力をするのか?という問いに対しては、「人々の悲しみを少しでも減らしたい。」ということ、すべて説明できるんだと、気がきました。悲しさを感じるかは、理屈はどれもいふ語れないことなので、反論できなかつたのだ、と思います。

ボランティア活動をやっている、これを再認識したのは最近で、あらためて国際協力に対する自分の姿勢を考えるようになりました。国際協力は、大義名分などではなく、思いやりのような、「心」に支えらる



岡安智生さん(2006年)

べきものだ、思うに至っています。

### エリトリアへの心境

大学に入ってからある程度時間がたつてくると、それまでただ勉強のみに励んできた自分の存在意義のようなものに疑問を持ち始めていました。そこにおいて「悲しみを少しでも減らしたい。」と思うことは、国際協力への動機以外に、自分の存在を確かめたいという願望を含んでいた、と今になって思います。エリトリアの支援プロジェクトは、すばらしいことだと思います。ただの資金とか、開発のための物の援助というのとは、時に自分の障害になりえたりしますが、特にいまから復興していくとする意図にあふれたエリトリアに対しては、自立支援という形の、人の養成は最も有意義でしょう。

ただボランティア、という観点だけで考えると、自分が講師としてエリトリアに行く意味がいまいちかかぬ。講師としては現地で雇用できるわけなし、自分には言葉のハンデもある。いままでは、「若さから!」学生だから「バイトだから!」スタディツアーだから!などのかくれみや逃げ場がありました。今回のことは、それらがまったくない。ボランティアだから、という理由はにはならない。そのような場所自分を投げ込めるという機会として、それは自分にとって有意義で、やってみたい、成し遂げてみたいと思います。成し遂げることへの努力の過程を自分に活かしたいのだから、つまるとこそ、エリトリアに役に立つことが、自分の望みにもなっている。人々のためになると、自分のためになることが、一致している。なかなか自分ごとくならないかと思えます。

自分の全精力をかけるに値する。すばらしい機会だと考えています。精一杯やってみようと思います。

## わかちあいプロジェクト募金

- カクマ、キボンド難民支援
- カンボジア自立支援
- エリトリア職業訓練校支援

●カクマ難民キャンプの外來棟の建設と巡回車のため、初めて外務省のNGO補助金に申請し、300万円の補助金をいただきました。ナイロビとの連絡が悪く苦労しました。タンザニアのキボンドキャンプへの古着支援は、20フィートコンテナ2台で、約50万円かかりましたが、皆さんからのカンパも約50万円でした。感謝!

●カンボジアへの支援は、郵政省のボランティア貯金の配分が少額で牛の支援申し込みも少なかったこともあり、昨年度は、400頭を支給しました。ただし、個人支援で学校1校(180万円)を寄付することができました。

●エリトリアの募金は、名古屋在住のベテロさんを中心に、中日新聞に取材してもらい、今までに170万円が寄せられました。皆様からの募金を加えると200万円を越えました。

●コーヒー、紅茶の利益から約200万円を支援の方向へ振り入れていただきます。

●詳しくは、会計報告をご覧ください。

●会員制をとっていないこともあり、援助のための資金が安定しない悩みがあります。

## カンボジアにご一緒にしませんか

堀木一男 運営委員

世界でおおよそ5000万人の難民がいると言われていて、日常の生活を失ってしまふことを余儀なくされている人々です。その中にあって、カンボジアの難民キャンプには、平和への復興、希望のにおいがあります。

我々かたあいプロジェクトは、ルーテル世界連帯連界奉仕部がカンボジアにおいて展開していた牛の支給プログラムを受けとめて、3年前前から取り組み始めました。農業をもう一度始めようとする人々への自立援助が一頭

2万円程の牛を介してできるのです。そして、この牛は、人々の足になり、動力になり、肥料も生産しさらに牛も産するといふのです。なにより素晴らしいのは、この支援が、顔写真やレポートを通して相手の顔が見えるという点です。そんな現地の農民やスタッフと2年前にも、ツアーによる交流が計画され、喜びに満ちた報告がなされました。

日頃、新居のオフィスで俄たけだしい生活に追われていた身ですけれど、第三世界の人々ことごとくに運出されるのか、またいかにして南北の経済格差が縮まるのかという開発教育の視点で、現地カンボジアを見たいと願っています。ご一緒にいかがですか!

## お知らせ

●わかちあい オンライン!  
コーヒー、紅茶の売上もホームページでできます。ただし、一件もあらずです。

電子メール: [GWAG13@ygg.jp](mailto:GWAG13@ygg.jp)  
Homepage: <http://www.kakuma.or.jp/wakai/>  
ホームページ: 岡安さんの努力で更新されています。彼の後継者を目指すホームページの編集のボランティアを募集しています。

●カクマ難民キャンプ・ワークキャンプ参加者募集  
日時: 1997年7月26日～9月1日

募集人員: 7名 所: カクマカクマ難民キャンプ  
費用: 2.7万円 条件: 18歳以上35歳までの

健康な青年、片言でも英語が話せること  
難民キャンプのための募金活動に協力する意欲のある人

内容: ワークキャンプ&ボランティア活動の研修  
締切: 1997年6月10日

応募方法: 参加費を原簿用紙4、5枚まとめて、宛先と履歴書とともに郵送すること  
選考: 1997年6月17日午後7時に面接し選考  
●気持支援型寄付  
支援先: キボンド難民キャンプほか  
古着の種類: 子供大人の夏、春秋に使用する衣類  
古着の状態: 洗って出したもの、あるいは自分で洗ってアイロンかけたものにして

## 1997年の募金目的と目標

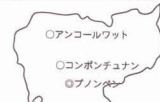
- カクマ難民救済 300万円  
病院関係の建設費と備品費  
ワークキャンプ経費  
古着などのコンテナ費用
- カンボジア自立支援 300万円  
牛の支給プロジェクト  
「村の職人」の資金として
- エリトリア職業訓練校支援 300万円

募金目標額 900万円

## 募金の送金先

郵便振替口座  
わかちあいプロジェクト募金  
00130-7-762258

## カンボジア研修の旅



- 期間: 1997年8月23日(土)～30日(土)
- 行先: 現地: カンボジア(プンペン、アンコールワット、コンポチチヤン)
- 募集定員: 10名
- 費用: 20万円
- 募集対象: 高校生以上の男女、健康と自信がある方。
- 申込締切: 1997年7月8日
- 申込方法: 申込用紙に、氏名、性別、職業、パスポートの有無、電話番号など記入し申し込む。

てください。  
送り先: 横浜市中区磯崎9-1-1  
11 日食倉庫 横浜浜田 東京三友ショッピング内  
(電話: 045-621-4870)

わかちあいプロジェクト  
受付期間: 1997年6月2日(月)～6月14日(土) (この期間に到着するようにお送りください)  
ダンボール箱の大きさ: 自由  
送料カンパのお使い: ダンボール1箱あたりのタンザニアまでの送料は無料です。出来たらカンパしてください。

発行所 わかちあいプロジェクト 130 東京都墨田区江東橋5-3-1 電話: 03-3634-7809 FAX: 03-3634-7808  
編集者 松木 傑 郵便振替口座: わかちあいプロジェクト募金 00130-7-762258 (募金用)  
わかちあいプロジェクト 00180-6-758331 (代金支払用)